

# みんなで学ぶ 信濃川

## 地域密着「信濃川キッズガイド」

新潟市立万代長嶺小学校校長 高橋 いずみ  
音読集団「ECHIGO」代表 栗山 靖子

### 1 はじめに

新潟市内の中心に流れる日本一の川「信濃川」を多方面から調べて、最後は信濃川の船の中で小学生が小学生の言葉でガイドをするという取り組みをスタートしたのは昭和22年であった。信濃川には屋形船1艘と信濃川ウォーターシャトルのアナスタシア号、ベアトリス号の2隻の船が走っている。新潟の貴重な交通手段と観光資源になってほしい貴重な財産である。新潟市立万代長嶺小学校は学校区の中に国の重要文化財萬代橋があり、日本一長い川信濃川を学ぶ総合学習を4年生で行っており、学習を深めてさらに地域の方々や保護者、さらには観光で新潟を訪問された方に船の中でガイドをする信濃川ルネッサンスとして信濃川キッズガイドを6年生が毎年取り組むようになって、今年度で6年目を迎えている。新潟の地域を学ぶ総合学習としては学びを活かして、人に伝える貴重な学習となって続いている。

### 2 年間実施スケジュール

日 程		学 習
5月	29日	信濃川学習オリエンテーション 支援協力団体顔合わせ
6月	5日	大河津分水事前学習 3限 国土交通省信濃川河川事務所
	12日	大河津分水 学習 8:00小学校出発 信濃川大河津資料館 新可動工事現場視察 講師 北陸地域づくり協会スタッフ・信濃川河川事務所ほか
7月	7日	信濃川学習 萬代橋学習 屋形船乗船
	13日	信濃川ウォーターシャトル乗船 信濃川の話 信濃川下流河川事務所 9月「全国川サミット」に向けての発表内容作成
8月		信濃川学習 全国川サミット発表練習
9月	5日	全国川サミット発表 発表に向けた班分け
10月	8日	「地域学習 流作場を知る」 事前学習 講師 にいがた観光カリスマ 野内 隆裕 氏 まち歩き 打合せ 新潟シティガイドさんと万代地域コミュニティ協議会が協力
11月	2日	まち歩き 発表資料作成
12月	21日	発表練習 講師 にいがた観光カリスマ なぐも友美氏 ・音読集団「ECHIGO」栗山靖子氏
1月	14日	発表練習 にいがた観光カリスマ なぐも友美氏
	19日	ガイドの心得等講習 寺田新潟県副知事
	25日	発表練習 にいがた観光カリスマ なぐも友美氏
	29日	信濃川キッズガイド

○今年の新たな取り組み紹介

10月 地域学習としての「まち歩き」に向けての準備

学校行事が盛りだくさんの中、新潟市の路地巡りなどのたくさんのガイドブックを制作している野内さんから小学校周辺の沼垂や信濃川が運んできた土砂によってつくられた流作場についての話を聞く。また、11月のまち歩きに関してのアドバイスや新潟シティガイドさんとの打ち合わせを行う。



野内さんからガイドの極意を学ぶ。

▽新潟シティガイドさんと3コースでまち歩きを実践。

信濃川キッズガイド「まち歩き」コース

1 「流作場とは」コース



- ①万代長嶺小学校発
- ②ほんぼーと（古信濃川の案内板）
- ③古信濃川跡
- ④本立寺（流作場の開拓者、安倍玄的の墓）
- ⑤古信濃川排水機場
- ⑥ピア万代の脇（古信濃川の出口）
- ⑦三社神社（安倍玄的の家・萬代橋架橋の碑）
- ⑧万代長嶺小学校着

2 「信濃川と萬代橋」コース



- ①万代長嶺小学校発
- ②万代町通り（萬代橋たもとより沼垂駅まで作られた道）
- ③流作場五差路（初代と二代目の萬代橋はここまで）
- ④万代クロッシング（萬代橋の杭）
- ⑤信濃川右岸（初代萬代橋の碑）
- ⑥万代テラス
- ⑦ANA クラウンプラザホテル前（信濃川川岸の道跡）
- ⑧三社神社（安倍玄的の家・萬代橋架橋の碑）
- ⑨万代長嶺小学校着

3 「つなぐ町」コース



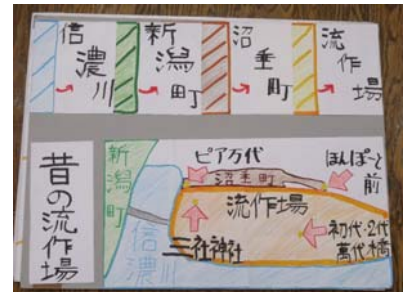
- ①万代長嶺小学校発
- ②三社通り～あま太郎（線路跡）
- ③流作場五差路（初代と二代目の萬代橋はここまで）
- ④弁天公園（旧新潟駅跡・公衆電話発祥の碑）
- ⑤駅前楽天地（新潟地震の液状化の跡）
- ⑥石宮公園（新潟駅土地改良竣工記念の裸婦像）
- ⑦弁天町通（弁天像七福神像に流作場の歴史）
- ⑧民衆駅・新潟駅の名残
- ⑨花園一丁目（流作場開発案内板）
- ⑩万代長嶺小学校着

## 11月 まち歩きと発表用資料づくり

11月2日小雨の降りしきる中で、新潟シティガイドさんたちに案内されながら班ごとにまち歩きを実施。実際に事前に聞いていた話と歩きながら確認して行くまち歩きは少し難しい感じではあったが、貴重な体験だった。3種類のコースを選んでの地域学習だったが、ガイドさんの話し方も今後の発表のヒントになるものがあって、とっても良い経験だった。



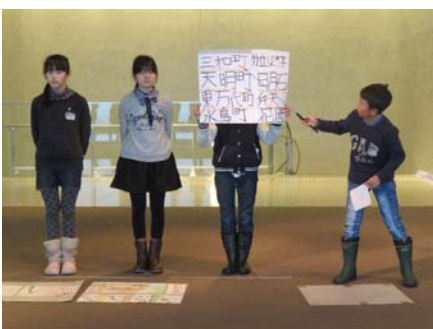
発表に向けての資料づくりもスタート。



発表用の資料づくり、発表用の原稿づくり、ガイドとしての発表の仕方や資料の見せ方など多くの時間をかけて1月29日のキッズガイドの発表の日を迎えた。



信濃川ウォーターシャトル内でのキッズガイドの様子



新潟日報メディアシップ20階での発表。当日は新潟日報の取材も入り、大きく掲載された。

### 3 最後に

多くの人たちの協力で新潟市立万代長嶺小学校の6年生の信濃川キッズガイドが行われた。行政の方々、信濃川に関わる企業団体の方々、そして万代地域コミュニティ協議会の方々。今回のメインは信濃川キッズガイドとその前に行われた流作場（信濃川の運んできた土砂によってつくられた地域）や沼垂などを歩いてまわるというまち歩きを行ったことである。地域と信濃川の関わりをよく理解してくれたことと考えている。信濃川キッズガイド当日1月29日東京から指導助言で石橋先生に来て頂いた。「発表に感想など自身の気持ちが入っていてとても良い」との講評を頂いた。発表の資料も工夫を凝らしたものが多く、見せ方もそれぞれによく考えられていた。スタート時からの1年間の成長がとても大きく、指導の先生方の努力のたまものと頭が下がる思いである。豊かな情報と恵まれた活動が今後も続いて行くことを期待したい。

また、この活動に2度の助成を頂いた北陸地域づくり協会に感謝を申し上げるとともに、子どもたちの心に残るガイド活動であったと確信して、今期を終了したい。ありがとうございました。